

こいぬの塾をしていて思うことがあります。

「逃げ癖」の子が多い！！



こいぬの塾ではおいでを上手になってもらおうと練習をしています。

おやつを使って上手に呼び戻せるようになる子はたくさんいるのですが、そこから抱っこをしようとすると逃げちゃう子がたくさんいます。

今回は、そんな捕まえようとすると逃げてしまうワンちゃんについてお話ししようと思います。

○逃げ癖を直すためには…

1、 家の中でもリードを付けて練習をしましょう

家の中でもリード？と面倒になってしまう飼い主さんもいると思います。

しつけの基本は失敗させないことが大事になります。リードをしないで部屋に出して、捕まえようとして失敗すると、逃げ癖のトレーニングをしているのと同じことになってしまいます。

家の中のリードですが、散歩の時のしっかりしたリードではなく軽い簡易的なリードでも問題はありません。

2、 呼び戻しの練習を繰り返していきます

まず、ご褒美を用意します。(おやつ、おもちゃなど)夢中になれるものなら何でもいいです。

名前を呼んで、足元まで来たらご褒美をあげます。その時に体も触るようにしましょう。体を触ることが大事になります！

コツコツ練習を積み重ねていくことが重要です。

○普段の生活で気を付けることは…

・追いかけて捕まえようとしない

→急いで捕まえようと追いかけてしまうと逃げ癖を強化してしまいます。

・無理やり捕まえない

→顔の前に立って素早い動きで捕まえようとする怖がってしまいます。

・遊ぶ時追いかける遊びをやめる

→特に小さいお子さんがいるご家庭では、追いかけて遊ぶことが多いと思います。この遊びは、逃げる練習を繰り返していることになるので気を付けてください。

→ワンちゃんに自分を追いかけさせるような鬼ごっこ遊びをしましょう。

ただし、興奮のさせすぎには注意が必要です。洋服や足を噛むようなことがあれば落ち着かせることも大事になります。

○オスワリ、マテをしっかり教えてあげる

呼び戻しができるようになってきたら、足元に来た時にオスワリ、マテをさせる事でそこにとどまらせることができるので、そのまま優しく抱き上げることで逃げ癖が緩和されていきます。

少しコミュニケーションが取れるようになってきたら、おいでを抱っこまでセットにして教えていくと良いでしょう。

○最後に…

逃げ癖が日常の生活に役立つことはありません。

玄関から飛び出してしまった時、リードが外れてしまったなど本当にいざという時に事故が起こってしまうこともあります。ぜひ、直していけるような生活習慣を心がけてもらいたいと思います。